

令和4年度

学校魅力化
フォーラム

令和4年8月26日(金)
14:00~16:35

オンライン開催 (Zoom)



事例発表のテーマ・概要

大分県玖珠町

「“極”小規模地域の小学校再編と中学校統合の必要性とその違い」

町内すべて（7つ）の中学校を1校に統合し、くす星翔中学校が平成31年4月に開校しました。統合まで20年近くの期間を要し開校に至った経緯と、歯止めの効かない人口減少の中で、“極”小規模自治体の地域の拠点（唯一の公共施設）としての、小学校の必要性とそのあり方について説明します。

岡山県高梁市

「学校の適正規模化と学校再編からの逆襲」

人口減少、少子化等による学校再編は小規模な自治体の重い課題です。学校がなくなると地域も衰退します。こうした中、ただ再編をスムーズに行うことだけに力を注いでいてもいいのでしょうか。その前にすべきことがあるはずです。教育目標を達成するための教育施策のあり方について論議を広く巻き起こし、共有し、鏡張りの中で実践していく過程を紹介します。

長野県栄村

「小さな村の大きな挑戦（ICT・ふるさと学習・新しい学校作り）」

ICTの活用を通して僻地・山間地校の弱点を強みに変え、他校と連携しながら授業改善に一石を投じることができました。また、3年前には総合的な学習ブックを村内小中学校教師の手により作成し、ふるさと学習も推進しています。少子化に伴い、全村民参加可能なワークショップも本年度から開催し、住民主体で新しい学校を創るため小中学校の教育改革を行っている途上をご報告します。

山口県美祢市

「学園制加配の活用による3小学校合同授業と公設塾mineto」

学園制加配の活用により、3小1中の美東中学校区で小中一貫教育を推進しています。小中一貫カリキュラムの作成、3小学校の5・6年生が週1回集まる合同授業の取組などお話しします。

また、本市独自の取組として、「好奇心を引き出し、挑戦する力を育む」をコンセプトにした中学生対象の公設塾mineto（みねと）について、ご紹介します。

鹿児島県鹿児島市

「桜島における義務教育学校新設に向けた取組」

鹿児島市で初めてとなる義務教育学校を、桜島にある全ての小中学校8校（5小学校・3中学校）を統廃合し、新設することとなりました。

危機感を持って地域がまとまり、一気に計画が進んだ経緯や、令和8年4月の開校に向けて、地域や保護者、教職員の方々と行政が一体となって、子ども達のよりよい教育のために取り組んでいる現在の状況についてお伝えします。

秋田県北秋田市

「地域とともに未来を創造する小規模義務教育学校9年間の学び」

3年間に及ぶ地域との話し合いから生まれた義務教育学校が、令和5年4月、67人の児童生徒数で開校します。豊かな自然と温かい地域の人々に見守られて学ぶ子どもたちは、将来の地域を支える人材として、人口減少が進む地域の活性化に寄与することが期待されます。地域において学校が担う役割とは何か。統廃合方針の決定までの軌跡と、現在・未来への活動をリアルな視点でお伝えします。